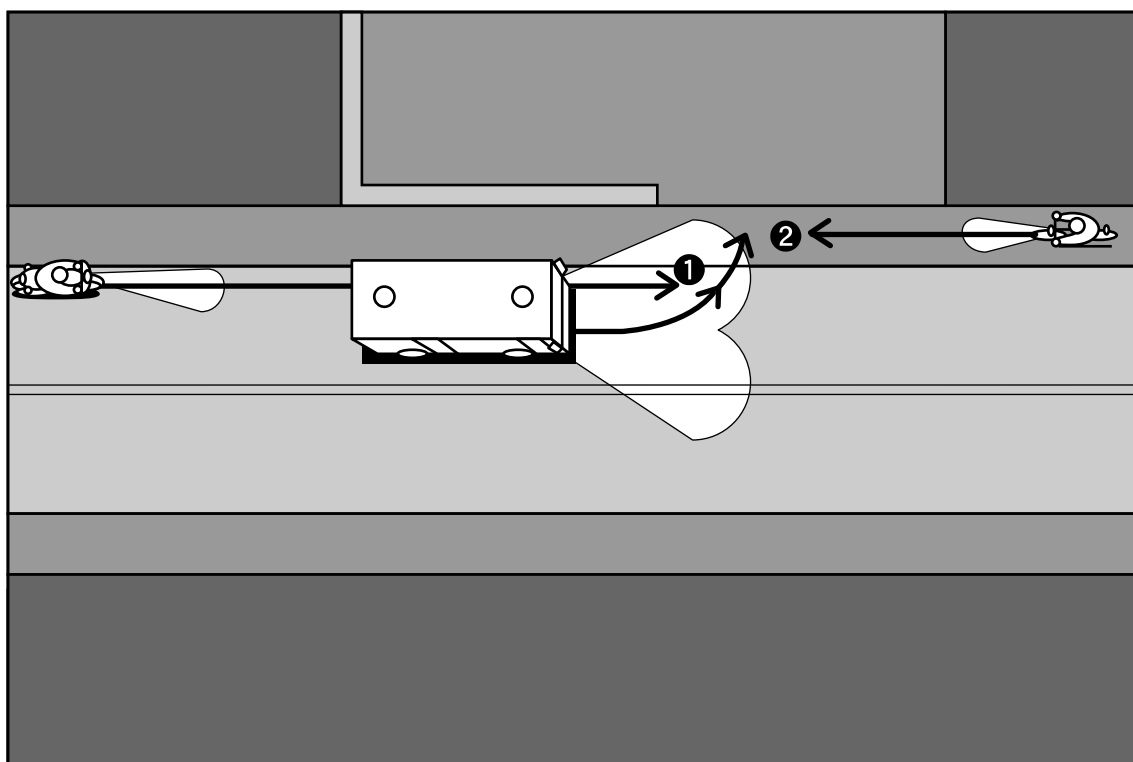


〔バス2〕 夜間、営業所に戻るため左折



1. 主な危険要因の例

- ① このまま左折すると、左側の後方から走行してくる二輪車と衝突する危険がある。
- ② このまま左折すると、歩道を進行してくる自転車と衝突する危険がある。

2. 安全運転の例

- ① 左折する前に、必ず左後方の状況を確認し、二輪車が接近しているときは、先に行かせる。
- ② 歩道の手前で一時停止して、歩道に自転車や歩行者がいないかどうかを確認する。
- ③ 左折するときは徐行する。

3. 乗務員指導のポイント

- ① 営業所の近くまでくると、気が緩んだり、早く戻ろうという意識が働いて、安全確認がおろそかになりやすいので、営業所に入って車を止め下車するまでは、決して気を抜かないよう指導する。
- ② 左折するときは、必ず左後方の状況を確認し、二輪車が接近していないかどうかを確認するよう指導する。
- ③ 歩道を横切るときは手前で一時停止し、歩道の状況を確認するよう指導する。特に夜間は無灯火の自転車も多いので、その点にも注意するよう指導する。